



外用殺菌消毒剤

グルコジンR

・エタノール液0.5%

Glucodine R・Ethanol Solution 0.5% (クロルヘキシジングルコン酸塩製剤)

月 日 開封
月 日 期限

火気厳禁

アルコール類
危険等級Ⅱ 水溶性

使用期限
製造番号

500mL



キャップ:PP
容器:PE

販売元
日医工株式会社
富山市総曲輪1丁目6番21

製造販売元
ヤクハン製薬株式会社
北海道北広島市北の里27番地

※2017年10月改訂(第7版)
※2016年5月改訂

貯法 避光し気密容器 直射日光、火気避けて保存
使用期限 ラベルに記載

【禁忌】(次の患者及び部位には使用しないこと)

- (1)クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
- (2)脳、脊髄、耳(内耳、中耳、外耳)【聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。】
- ※(3)腔、膀胱、口腔等の粘膜面【クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。】
- (4)損傷皮膚及び粘膜炎【エタノール含有液なので、損傷皮膚及び粘膜炎への使用により刺激作用がある。】
- (5)眼

【組成・性状】 本品100mL中、日局クロルヘキシジングルコン酸塩液2.5mL(クロルヘキシジングルコン酸塩として500mg)を含む。添加物として日局エタノール83mL、赤色2号を含む。本品は赤色の澄明な液で、エタノール臭があり可燃性である。

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の皮膚の消毒	本剤をそのまま消毒部位(着色又は脱脂等を必要とする部位)に用いる。
医療機器の消毒	本剤をそのまま用いる。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)

- (1)薬物過敏症の既往歴のある者【過敏症の発現の可能性がある。】
- (2)喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者【過敏症の発現の可能性がある。】

2. 重要な基本的注意

- ※(1)ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
- (2)本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
- (3)産婦人科用(膣・外陰部の消毒等)、泌尿器科用(膀胱・外性器の消毒等)には使用しないこと。
- (4)広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。【エタノール蒸気が大量にまたは繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。】

3. 副作用

- ※(1)重大な副作用 ※ショック、アナフィラキシー(頻度不明): ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
- (2)その他の副作用 過敏症(頻度不明)発疹・蕁麻疹等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には直ちに使用を中止し、再使用しないこと。皮膚(頻度不明)刺激症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

4. 適用上の注意

- (1)投与経路 外用にのみ使用すること。
- (2)使用時
 - 1) 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
 - 2) 血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には十分に洗い落してから使用すること。
 - 3) 同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 4) 注射器、カテーテル等の神経や粘膜面に接触する可能性のある器具を本剤で消毒した場合は、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
 - 5) 本剤の付着したカテーテルを透析に用いると、透析液の成分により難溶性の塩を生成することがあるので、本剤で消毒したカテーテルは、滅菌精製水でよく洗い流した後使用すること。
 - 6) 引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等を含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。
 - 7) 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合には十分に洗い落してから使用すること。
 - 8) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落してから使用すること。
 - 9) 消毒用綿球、ガーゼ等を使用する場合は本剤が吸着するので、用時浸漬する等注意すること。
 - ※10) 溶液の状態では長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

【取扱い上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために0.1%の割合で亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
3. 本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系漂白剤で漂白すると褐色のしみを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

【包装】 500mL

【文献請求先】 日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21 ☎(0120)517-215 Fax(076)442-8948

日本標準商品分類番号
872619
承認番号
Z2000AMX00671000
薬価収載
2008年6月
販売開始
2003年7月

